



企画展開催のご案内

ドラマチック・ラリック

2020年9月12日(土)～2021年3月21日(日)

想いをかたちに ときめく香水瓶

箱根ラリック美術館は、2005年3月19日、ガラス工芸家ルネ・ラリック(1860-1945)の作品を所蔵する国内有数の美術館として箱根・仙石原にオープンしました。おかげさまで、今年2020年に開館15周年を迎えます。さらに今年は、ルネ・ラリックの生誕160年。記念すべき周年イベントとして、本年9月12日(土)から、2021年3月21日(日)まで、ラリックが手がけた香水瓶の数々を、華やかなりし時代のパリを映したその香水の広告とともに展示する企画展「ドラマチック・ラリック」の開催が決定しましたので、お知らせします。本ニュースのご紹介をぜひご検討ください。

ルネ・ラリック(1860-1945)といえば、真っ先に「香水瓶」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。1900年のパリ万博でグランプリを獲得し、独創的なジュエリー作家として不動の地位を築いたラリックが、香水瓶のデザインと製造という新たな創作のジャンルを開拓したのは、香水商フアンソワ・コティとの出会いがきっかけでした。

ラリックは目には見えない香りの魅力やイメージを、花々や真夜中に輝く月といった自然の優美さや都会にそびえる高層ビルのスタイリッシュさに例え、瓶の造形やデザインで表現しました。容器という枠を超え、美しく繊細な意匠に物語(ドラマ)がこめられたラリックの香水瓶は、またたく間に人びとの心を掴みました。時には大切な人への愛を、そして時には戦場からの帰還への願いを、さまざまな想いを代弁する贈り物として、永く愛されてきたのです。モダンでスタイリッシュなデザインに、たくさんの想いを秘めたドラマチックなラリックの香水瓶の世界をご堪能ください。



▲ウォルト社 香水瓶5連作 (左から)「ダン・ラ・ニューイ」(真夜中に) 1924年/「ヴェール・ル・ジュール」(夜明け前に) 1926年/「サン・アデュー」(さよならは言わない) 1929年/「ジュ・ルヴィアン」(私は戻ってくる) 1931年/「ヴェール・トワ」(あなたのもとへ) 1933年

作品名を繋げると「真夜中に、夜明け前に さよならは言わない。私は戻ってくる、あなたのもとへ。」という愛の詩になる。



▲広告「ラリックの香水とパウダーボックス」1930年
リュシアン・ルロン社

企画展限定スイーツが登場!



ラリックがデザインした香水瓶「ダン・ラ・ニューイ」をイメージしたオリジナルスイーツ。(＊写真はイメージです)

【イベント】今によみがえる香り

戦地に赴く兵士たちが、再会を願い愛する女性に贈ったという香水「ジュ・ルヴィアン(再会)」。本展では、その瓶に収められていた当時の香りを再現します。

【主催】箱根ラリック美術館 【協力】アダチヨシオ コレクション、芳賀博子コレクション 【香りの特別協力】株式会社アトリエパルファン・香りのアトリエ

開館時間:9:00～17:00 (美術館入館は 16:30 まで ※臨時休館の場合あり、最新情報は、公式ホームページをご覧ください)

入館料:大人 1500 円/大・高生・シニア(65 歳以上)1300 円/中学生・小学生 800 円

所在地:神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 186 番 1 TEL:0460-84-2255

箱根ラリック美術館公式サイト www.lalique-museum.com/

【お問い合わせ】箱根ラリック美術館 (広報担当:古川) TEL:0460-84-2255